

深日漁港干潟における「第18回大阪湾生き物一斉調査」の概要

- 日 時 令和7年5月24日（土）10:00～13:00
○場 所 深日漁港干潟（大阪府泉南郡岬町深日）
○主 催 大阪湾生き物一斉調査実行委員会
（事務局：国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所）
○調査団体 岬町立岬中学校科学部、CIFER・コア
○観察指導 山下 隆司氏（大阪湾海岸生物研究会）
○参加者数 7名

5月24日、岬町立岬中学校科学部の生徒とともに、深日漁港干潟で生き物観察会を実施しました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、大阪湾海岸生物研究会の山下隆司先生のご指導のもと、生徒2名と顧問の先生、CIFER・コアスタッフや講師を含む計7名で活動を行いました。

例年観察されるハクセンシオマネキやアカテガニの姿は見られませんでした。講師によると雨天時にはカタツムリの仲間である貝類が活発に活動することと、普段とは異なる視点で干潟の自然を観察する機会となりました。

干潟ではアオサが一面に繁茂し、水辺は薄緑色に染まっていました。参加者はホソウミニナ、イボニシ、スガイなどの多くの貝類のほか、スジエビモドキ、ヒメハゼ、コブヨコバサミなど、さまざまな生き物を採取・観察することができました。

雨に濡れながらの活動となりましたが、参加した生徒からは「楽しかった」との感想が寄せられ、有意義な観察会となりました。今後もこうした体験を通じて、干潟の多様な生態系やその保全の重要性について関心を深めていってほしいと願っています。



スジエビモドキ



ヒメハゼ



コブヨコバサミ



ケハダヒザラガイ



※調査結果は他地点の結果と合わせ、大阪湾生き物一斉調査の情報公開サイトで公表されます。